

ほけんだより

京都橘中学校・高等学校

No.14 保健室

2026・3・17

14期生のみなさん、卒業おめでとうございます。

いよいよ明日は卒業式ですね。

1年生、新しい制服に大きなカバンを背負って、期待と不安を胸にまだ小さかったみなさんでしたが、中学の卒業を迎え、たくましく成長しましたね。

この3年間で楽しいことや嬉しいこと、辛いことや苦しいこと、たくさんのことが、今のみなさんの成長へとつながっていると思います。

これから先、自分にも周りの人にも気遣える、そんなステキな人になれるように願っています。



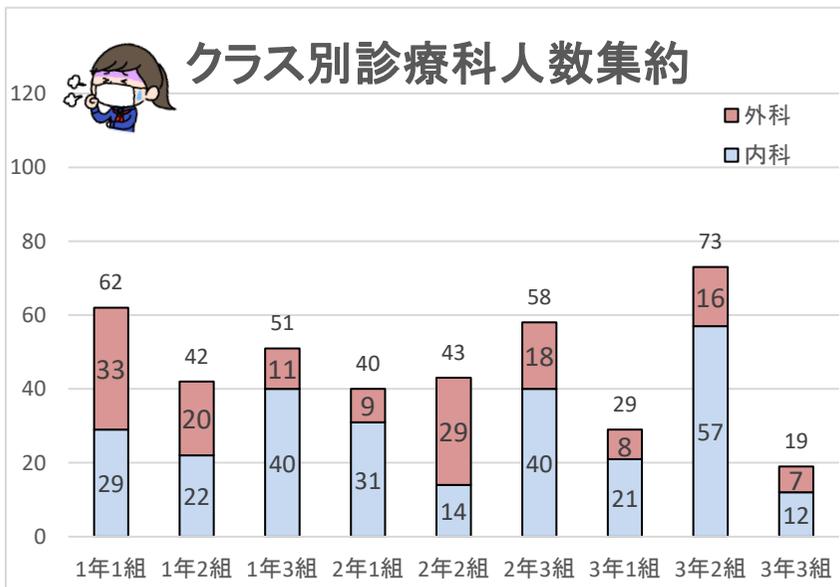
中学14期生 来室の記録

みなさんはどんな時に保健室を利用しましたか？

よく保健室に行ったなという人も、全然行かなかったなという人も、3年間どう過ごしたか、ぜひ振り返ってみてください。

14期生のみなさんは、1・2年生のころ、ケガなどの外科的なことでの来室が多かったように思います。

4月からは高校生、自分の心と体の健康を考えて守れる人になってほしいなと思います。



全体来室：417人

内科：266人
外科：151人

★中3：121人
中2：141人
中1：155人

14期生 3年間の保健室利用者数

中1時：143人
中2時：78人



さて、あなたは…



さて、右の●は何に見えますか？

ものの見方とは、「目の前の出来事を、どうとらえて、どう意味をつけるか」ということです。「思い込み」や「固定概念」とも言います。私たちは、普段、この「思い込み」や「固定概念」で目の前の出来事を判断しているの、なかなかこのことに気が付くことができません。

自分の見方や考え方をほんの少し変えるだけで、あなたが今、見えている世界が違って見えるのです。

その違う世界を、ぜひ探してみてください。

環境や相手、起きてしまったことは変えられませんが、自分自身のものの味方なら変えられると思いませんか？

たくさんの答えは自分の枠の外に隠れていますよ。



14期生のみなさん

ご卒業おめでとうございます

みなさんは、1人ひとりが素晴らしい個性を持っています。自らの限界を決めつけず、自分の可能性を信じて挑戦し続けてほしいと思います。そしていつか、唯一無二のあなたの花を咲かせてください。

みなさんの未来が、明るく素晴らしいものになりますように…

保健室 丸尾千恵美

14期生のみなさん

卒業おめでとうございます

『夢は見るものではなく叶えるもの』これは、ある歌のワンフレーズです。「間違いや失敗は成功のチャンス」、「諦めず挑戦し続けることがその先の道となる」と背中を押してくれる内容です。この歌詞のように、みなさん一人一人が思い描いたことに向かって進み続けてほしいと思います。応援しています！

梶川 弘子



最近、手に取った絵本。
新しく旅立つみなさんに、ピッタリの
一冊だと思います。
本の帯には「あなたには、夢を叶える力
がある。」と…❤️
ページをめくると、心がホッとして
勇気が湧いてきます！！

訳:海老根 祐子 イラスト:グレース・リー
文:コリン・ホーステン&ブルック・ヴィテール
KODANSHA